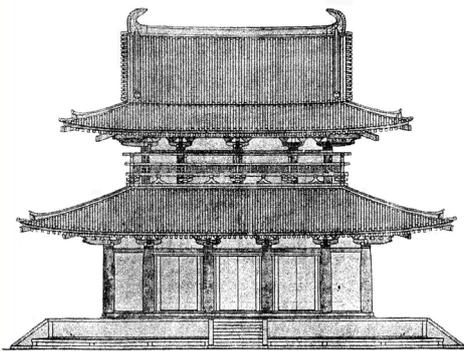


青柳憲昌『日本近代の建築保存方法論 —法隆寺昭和大修理と同時代の保存理念』を読む

日本建築学会近畿支部建築史部会では、歴史的建造物が集中し、重層する近畿の特徴を活かしながら、歴史的建造物とその背景にある社会や技術の解明を目的に研究活動を展開し、継続的に公開研究会を開催しております。

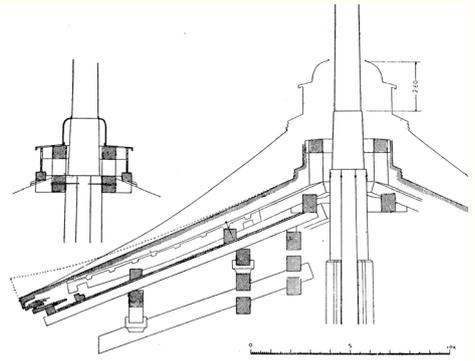
今回は、青柳憲昌氏のご著書に対する書評を通して、日本近代における「文化財」の創造と維持の仕組み、そして現代の保存と創造について、議論したいと思います。



建築史家大岡實による法隆寺金堂復原案（1948）



試作復元された法隆寺金堂鷗尾（1954）



法隆寺五重塔五層目屋根構造復原図（慶長修理後）

書誌情報：青柳憲昌『日本近代の建築保存方法論—法隆寺昭和大修理と同時代の保存理念』

（中央公論美術出版、2019年12月）。

プログラム

- 趣旨説明 鈴木智大（奈良文化財研究所）
- 講評 前川 歩（畿央大学）
- 回答 青柳憲昌（立命館大学）
- コメント 清水重敦（京都工芸繊維大学）

総合討議

司会 安田徹也（竹中大工道具館）

- 主催 日本建築学会近畿支部建築史部会
- 後援 日本建築学会建築歴史・意匠委員会 日本建築史小委員会
- 日時 2022年12月3日（土）13:30～16:30（開場13時）
- 会場 大阪科学技術センター404号室
大阪市西区鞠本町1-8-4

定員 90名（先着順）

参加費 無料

お申込み 準備の都合上、11月25日までに近畿支部ウェブサイトからお申込みください。

<http://kinki.aij.or.jp/activity/history/index.html>

懇親会 研究会後、会場近辺にて開催（予算5,000円程度）
出欠をご連絡ください。



近畿支部建築史部会

■大阪方面・なんば方面より
地下鉄四つ橋線本町駅下車 28号出口より北へ徒歩5分



お問い合わせ 鈴木智大（奈良文化財研究所）

e-mail suzuki-t2c@nich.go.jp

（★を@に置き換えてください）